

すくすく みごちっこ

与謝野町立三河内小学校
研究推進だより
令和6年2月8日

気づきを行動につなげ、生き生きと学び続けるみごちっ子の育成
～学校における「つながり」、家庭・地域との連携を通して～



心と体といのちの学習

令和6年がスタートし、早いものでもう2月です。今年は、年明けとともに不安なニュースからの始まりでした。被災地の方々には心よりお見舞い申し上げます。私たちの災害に対する備えや意識について振り返る機会となりました。また、大雪による警報や感染症対策など、健康や安全について「自分事」として考えさせられることがたくさんあった1月でした。1月に実施した健康安全教育に関わる取組を紹介します。

〈すこやか朝会〉「地震の備え」について話そう！



1月17日(水)のすこやか朝会は、石川県能登地方におきた地震をもとに、地震について「知り」、どんなことを「備え」ておけばよいか話し合う学習をしました。大きな地震が起きたら、どんなことが起こるかを確認し、「大きな地震が1週間後に来るなら、何を準備しますか？お家でなにができますか？」というテーマでペアトークをしました。全体の交流では、「水や食料を準備する」という意見だけでなく、「保存食を確認する」「ハザードマップで避難場所や経路を確認しておく」という意見も出され、学んだことを生かし、自分のこととして深く考えている様子が見られました。

近くの人と、積極的に話し合う姿が見られました。



〈みごちっこタイム〉 シェイクアウト訓練

1月18日(木)朝のみごちっこタイムは、「シェイクアウト訓練」を実施しました。シェイクアウト訓練とは、「その時にいる場所」で地震が発生したと想定して、地震の揺れから身を守る3つの安全行動を実施する訓練です。今回は、予告なしに訓練を始めました。子どもたちは、速やかに机の下に入って「1：姿勢を低く保ち」、「2：頭を守って」、「3：動かない」という安全行動をとることができました。



三河内小学校では、給食週間に合わせて2月に食に関する学習を実施します。栄養教諭による指導や、給食に関わる方に感謝の気持ちを伝える取組などを計画しています。1年生で実施した研究授業の様子と併せて、次号で紹介いたします。

